

平成26年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	都市計画推進事業			
予算科目	8 款 5 項 1 目			
総合計画での位置付け	都市基盤の整備 都市計画			
所管課情報	担当課:	都市住宅課	電話番号(内線):	567
記入者情報	所属長:	森下 久史	担当責任者:	三谷 陽紀
事業の性格	法定事務			
実施期間	【開始年度】平成 18 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	国、県、市の各種行政機関及び都市計画区域住民			
根拠法令等	都市計画法、国土交通省令			
事業の目的	農林漁業との健全な調和を図りつつ、健康で文化的な都市生活及び機能的な活動を確保すべき整備、開発その他都市計画の適切な計画を策定する。			
事業の内容	都市計画基礎調査等の調査や都市計画変更に伴う資料の作成を行う。			
改善策の 具体的 取り組み (当初)	変更手続きを円滑に行なうため、関係機関等との協議・調整を進め、早期に素案を作成する。			
改善策の 具体的 取り組み				

事業費及び財源内訳					
項 目		25年度決算	26年度予算	9月末の執行状況	26年度決算
事業費	直接事業費	3,567	31,400	4,210	14,040
	人件費	4,067	3,181	1,590	3,181
	合計	0	34,581	5,800	17,221
人件費 内訳	人工数	0.50	0.40	0.20	0.40
	人件費単価	8,135	7,954	7,954	7,954
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	4,067	3,181	1,590	3,181
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	7,634	34,581	5,800	17,221

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	25年度実績	26年度予定	9月末の実績	26年度実績
都市計画審議会	回	0	2	0	0

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	5年間の実績
	0	0	0	0	0	0

成果指標				
成果指標	都市計画審議会開催回数			
指標設定の考え方	都市計画変更案件に対し資料作成等を行い、都市計画審議会を開催することから、審議会開催回数を成果として考える。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	
目標	1	2	2	0
実績	0	0	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	3	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	市街化区域における用途見直しについては、素案作成にあたり、関係機関等との協議・調整に期間を要したため、繰越となった。早期に説明会・公聴会等手続きを進め、次年度内の用途見直し完了を目指す。都市計画道路の変更については、11月に説明会・公聴会を開催、案の作成までとなった。次年度早期に公告・縦覧を経て審議会を開催し、上半期での決定を目指す。都市計画図については、平成25年度に撮影された航空写真を利用、修正を行ない、適正な管理に努めた。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	市街化区域の用途地域見直しについては、図書館・文化ホール等建設事業にも密接に関わってくるため、次年度、公聴会等手続きを進め、早期見直しの完了をさせなければならない。都市計画道路の変更については、素案の作成まで終えているため、その後、公告・縦覧・審議会等の手続きを速やかに行い、次年度上半期中の決定を目指す。都市計画図については、平成25年度に撮影された航空写真を基に地図の修整を行うことにより、地図利用者に適正なデータを提供することができた。今後も定期的な修正を行い、適正管理に努める必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮る。
意見、課題	行政評価委員会抽出事業

行政評価委員会の答申

<p>外部評価 (行政評価委員会)</p>	<p>・あまりよく分からない。都市計画を作成するには、すごくお金がかかるのだと思った。・課題認識では重要性を感じられているものの、目的の妥当性や市の関与の妥当性が中ほどの評価であり、バランスがどうかと感じた。・用途区分の見直しの点も掲げられている。近隣との調整もしていただき、必要に応じた見直しをしていただきたい。・伊予市がどうするか、未来づくりの戦略が基本プランにないと都市計画の修正はできないと思う。</p>
---------------------------	--

経営者会議の最終判断

<p>事業の方向性</p>	<p>現状のまま継続する。</p>
<p>意見、課題</p>	